

《その他科目 その他》

科目名	インテグレイティド・コミュニケーション・スキルズ				
担当者氏名	ビル ロッケンバッハ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	3年・秋期

《授業の概要》

映画、ニュース番組、教育環境（教室）で撮られた授業例などを「当場面でコミュニケーションが成立したかどうか」の観点から細かく分析し、その改善方法を考えてロールプレーなどで再現する。

《テキスト》

未定
（検討中：「英語の仕事術グローバル・ビジネスのコミュニケーション」（小学館出版）ISBN:978-4093884563）

《参考図書》

未定

《授業の到達目標》

中級以上のレベルの受講者に基礎的な英語学力では上手く対応することができないだろうというような、ある程度込み入ったコミュニケーション場面で当てはまる話術テクニックを身につける。

《授業時間外学習》

予習として、その授業のトピックとなる背景を調べておく。復習として、授業で使われる文章の単語の意味と各文の構成を確認する。

《成績評価の方法》

- ・ 授業への参加姿勢（受講態度）...20%
- ・ 平常点（小テスト、提出物）...40%
- ・ 期末テスト...40%

《備考》

「授業計画」は「英語の仕事術グローバル・ビジネスのコミュニケーション」（小学館出版）をテキストとして使った授業の展開例である。ニュース番組、映画シーン等も平行に使われる。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	英語コミュニケーション	「聞こえる」と「聴く」の違い、聴くことを妨げるものについて
2	英語コミュニケーション	積極的に質問をすることについて
3	英語コミュニケーション	人前でのプレゼンテーション
4	英語コミュニケーション	聴衆を理解する技術（分析）
5	英語コミュニケーション	インパクトのある出だし（工夫）
6	英語コミュニケーション	分かりやすい構成
7	英語コミュニケーション	効果的なまとめ方
8	英語コミュニケーション	プレゼンの実施と資料の使い方について
9	英語コミュニケーション	電話会話の特徴
10	英語コミュニケーション	グローバル会議で生じる問題
11	英語コミュニケーション	合意を得るための段取り
12	英語コミュニケーション	生じた問題の解決法
13	英語コミュニケーション	コンフリクト（意見衝突）の原因（部類）
14	英語コミュニケーション	コンフリクトの解決法
15	まとめ	まとめ（総括）